

## 8 七飯町の児童生徒の傾向と課題

### 小学校

#### ① 国語

- ・各評価観点の平均正答率は、いずれも全国平均を下回っています。(−2.1 ~ −4.9 ポイント)
- ・「話す・聞く能力」や「書く能力」については、やや課題があります。特に、「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」趣旨の問題(30字以上50字以内の記述式解答)においては、正答率が40.7%であり、無回答率も14.2%と高くなっています。(類題問題 B3三)
- ・「読む能力」については、やや課題があります。「登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える」趣旨の問題(選択式解答)において、正答率が61.1%となっています。
- ・「言語についての知識・理解・技能」については、「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく」または「読む」においては、概ねよい成果が得られています。しかし、「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」または「ローマ字で表記されたものを正しく読む」ことに課題があります。

#### ② 算数

- ・各領域の平均正答率は、全国平均とほぼ同様(+0.1 ~ −2.5 ポイント)です。全道平均との比較では、すべての領域で上回っています。
- ・A問題の無回答率は最大6.6%(2題)ですが、B問題については4題において、20.8% ~ 29.2%となっています。いずれも記述式の問題です。
- ・「数と計算」については、A問題の10題中半数が正答率において全国平均を上回っており、概ね改善傾向が見られます。
- ・「量と測定」については、概ね理解されています(A4及びA5)が、他の領域と関連させ、数学的な考え方に基いて答えを導くことに課題があります。(B5(1)及び(2))
- ・「図形」については、概ね理解されています(A4及びA5)
- ・評価の観点別に見ると、「数量や図形についての知識・理解」については改善されていますが、「数学的な考え方」については課題があります。

#### ③ 児童質問紙の昨年度調査において課題となった事項と今年度との比較

- ・昨年度の質問紙の結果から課題となった項目について(全国に比べて相当低い項目)

「国語の授業はよく分かるか」	: −9.9(H27)	→ +1.1(H28)
「テレビ・携帯ゲーム等の使用時間」	: −9.4(H27)	→ −1.3(H28)
「休日の勉強時間」	: −9.1(H27)	→ −11.3(H28)
「平日の読書時間(除く漫画や雑誌等)」	: −9.0(H27)	→ +3.4(H28)
「休み時間や休日の図書館へ通う回数」	: −8.1(H27)	→ −4.5(H28)
- ・「国語の授業の内容はよくわかりますか」について、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と応えた児童は、昨年度72.1%でしたが、今年度は81.8%となっています。国語の授業の改善が図られていると考えられます。
- ・「普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」について、「2時間以上」と応えた児童は、昨年度39.6%でしたが、今年度は31.0%となっています。4時間以上の児童数についても減少が見られ、ゲームをする時間の短縮化が図られています。
- ・「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」について、「2時間以上」と応えた児童は、昨年度15.4%でしたが、今年度は12.9%となっています。「全くしない」は昨年度と同様ですが、全国との差は開いており、休日の過ごし方については、再考または改善が必要です。
- ・「学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」について、「30分以上」と応えた児童は、昨年度28.7%でしたが、今年度は39.9%となっています。読書習慣が改善されてきたと考えられます。

- ・「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」について、「月に1回以上行く」と応えた児童は、昨年度 32.6%でしたが、今年度は 35.8%となっています。読書についての関心が高まっていると考えられます。しかし、「ほとんど、または、全く行かない」と応えた児童は昨年度も今年度も約 30%となっており、改善が必要です。

#### ④ 児童の学校生活について

- ・「学校に行くのは楽しいですか」についての回答では、昨年度、「そう思う」と応えた児童は 48.8%、「どちらかといえばそう思う」と応えた児童は 37.5%、合わせて 86.3%となっています。今年度、「そう思う」が 45.1%、「どちらかといえばそう思う」が 40.7%、合わせて 90.8%となっています。一方、「そう思わない」と応えた児童は、昨年度 5.4%、今年度 5.3%となっており、一定数の児童が「学校は楽しいと思わない」と応えています。学校全体の在り方や個に応じた指導等について、今後引き続きに検討していく必要があります。

## 中学校

### ① 国語

- ・「書く力」については、「伝えたい事柄について、根拠を明確にして」記述で答える問題において相当の生徒ができています。(A 4二、B 1三)
- ・「読む力」については、説明的な文章を読むことにおいて、目的に応じて情報を適切に捉えたり、捉えて要約したりする力に一部課題があります。(B 2二及びB 3二)
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに一部課題があります。(A 9三ウ、オ及び七1)

### ② 数学

- ・各領域の平均正答率は、全国平均と同様またはそれ以上です。(-0.5 ~ +9.4 ポイント)です。特に「資料の活用」においては「相当高い」(A問題)、「高い」(B問題)となっています。
- ・「数と式」については、「正の数と負の数の加法計算」はほとんどの生徒ができていますが、「分数と小数の乗法計算」(A 1(1))や「自然数の意味の理解」(A 1(2))、「数量関係を文字式に表す」(A 2(2))などに一部課題があります。
- ・「図形」については、「数学的な技能」における問題は相当数の生徒はできていますが、「垂線の作図の方法」においては課題があります。(A 4(1))また、「数学的な見方や考え方」と関連する問題についても課題があります。(B 4)
- ・「関数」については、「反比例の関係における具体的な事象」(A 9(3))及び「一次関数における変域」(A 10(3)いて)に関する「数学的な技能」に課題があります。
- ・「資料の活用」については、「最頻値の読み取り」(A 12(1))や「近似値や誤差の意味」(A 12(2))に関した「知識・理解」に課題があります。
- ・評価の観点別に見ると、「数学的な技能」については改善されていますが、「数量や図形についての知識・理解」については一部課題があります。

### ③ 生徒質問紙の昨年度調査において課題となった事項と今年度の比較

- ・昨年度の質問紙の結果から課題となった項目について（全国に比べて相当低い項目）
 

「親の学校行事参加（運動会・参観日等）」	: -17.6 (H27)	→ H28 は調査項目なし
「前年度までのノートに、目標やまとめが記されたか」	: -14.5 (H27)	→ - 7.9 (H28)
「前年度まで、授業の最初に目標が示されたか」	: -13.5 (H27)	→ - 1.1 (H28)
「自分の考えを他に説明したり文章化できるか」	: -11.9 (H27)	→ - 1.0 (H28)
「前年度まで、最後に振り返りが行われたか」	: - 8.9 (H27)	→ -12.3 (H28)
「平日のメールやネットの使用時間」	: - 8.7 (H27)	→ - 1.6 (H28)
「平日のテレビ・携帯式ゲーム等の使用時間」	: - 8.3 (H27)	→ - 2.1 (H28)
「テレビ・ビデオ等の視聴時間（除くゲーム）」	: - 7.3 (H27)	→ - 4.4 (H28)

- ・「1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」について、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と応えた生徒は、昨年度59.2%でしたが、今年度は68.9%となっています。授業の改善が図られています。
  - ・「1, 2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」について、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と応えた生徒は、昨年度66.2%でしたが、今年度は83.9%となっています。授業の改善が図られていると考えられます。
  - ・「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」について、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と応えた生徒は、昨年度52.5%でしたが、今年度は61.2%となっています。「難しい」と考える生徒が増えていると考えられます。
  - ・「1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」について、「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と応えた生徒は、昨年度50.4%であり、今年度は50.8%となっています。昨年度と今年度の数値はほぼ同じですが、今年度は全国の集計値が上昇しているため、昨年度との比較では、差が大きくなっています。授業における「目標」、「まとめ」、「振り返り」は1時間ごとの授業過程に明確に位置づけるよう今後も引き続き改善が必要です。
  - ・「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってビデオゲームをする時間は除く）」について、「2時間以上」と応えた生徒は、昨年度40.0%でしたが、今年度は28.5%となっています。携帯電話やスマートフォンの使用時間が減少する傾向が見られます。
  - ・「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」について、「2時間以上」と応えた生徒は、昨年度44.6%でしたが、今年度は32.8%となっています。テレビや携帯電話やスマートフォンでゲームをする時間の減少が見られます。
  - ・「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）」について、「2時間以上」と応えた生徒は、昨年度63.0%でしたが、今年度は44.3%となっています。テレビやビデオ・DVDを見る時間の減少が見られます。
- ④ 生徒の学校生活について
- ・「学校に行くのは楽しいですか」についての回答では、昨年度、「そう思う」と応えた生徒は50.8%、「どちらかといえばそう思う」と応えた生徒は28.8%、合わせて79.6%となっています。今年度、「そう思う」が41.2%、「どちらかといえばそう思う」が39.0%、合わせて80.2%となっています。一方、「そう思わない」と応えた生徒は、昨年度7.1%、今年度9.2%となっています。学校へ行くことに楽しさを感じない生徒の微増傾向が見られます。

## 七飯町の取組（概要）

### 1 基礎・基本の確実な定着に向けた指導の充実

- ① 「学校改善プラン」に基づく各学校の課題解決に向けた取組
- ② 習熟の程度に応じたきめ細かな学習指導のための学習支援員の活用及び授業改善推進チーム活用事業による授業改善の推進
- ③ 家庭学習定着のための「七飯町家庭学習の手引き」の積極的な活用

### 2 国際理解教育の充実

- ① 外国語指導助手による英語教育の充実
- ② 小中学校と七飯高校との英語教育における連携型小中一貫教育による英語力向上のための取組

### 3 学習環境の整備・充実

- ① 質の高い学校教育推進のための学校図書及び教材備品の整備
- ② 「生きる力」を育成を目指した情報教育推進のための積極的なICT活用と整備充実